

# 600人 内灘完歩

## ロマンチックウォーク

第3回恋人の聖地・内灘ロマンチックウォーク（本社、テレビ金沢、北陸放送後援）は20日、内灘町役場を着点とする5キロと12

キロのコースで行われ、約600人が日本海や緑まぶしい河北潟干拓地の眺望を楽しみながら、爽やかな汗を流した。

金沢医科大学病院の医師や看護師も同行、参加者は健康に役立つ話を聞きながら歩を進めた。今回初めてカロリー燃焼や活動量が分かる高機能歩数計「ライフコータ」が希望者20人に貸し出された。

町総合公園内の「恋人の聖地・鐘つき堂」では、日本海を背景に記念撮影する親子の姿も見られた。今年もアジアロマンチック祭

（本社後援）と同日開催となり、12キロコースの参加者は林帯遊歩道で満開となったニセアシアの下、文化の催しも満喫した。

町役場には同大による「ふれあい健康フェア」も開かれた。

ロマンチックウォークは町制50周年と同大創立40周年事業として行われ、町ウォーキング協会の中村進会長が開会宣言、八十出泰成町長と竹越襄同大理事長があいさつした。



青空の下、内灘大橋を渡る参加者 内灘町大根布